

豊中市教育保育環境ガイドライン 評価シート（乳児編）

プロセス（過程）の質 評価の柱	ねらい	評価結果			
		ひよこ	りす	うさぎ	総合
I 【空間と家具】					
①日常のケア、遊び・学びのための教材・家具・備品	安心し、楽しく過ごす	4	4	4	4
【りす】*椅子など、体のサイズに合っていない場合などは小道具などを使って合うようにしている					
②遊びのための室内構成（1人2人のための空間・子どもに関する展示）	気持ちの良い生活ができる	3	3	4	3
【りす】*コーナー遊びやグループに分ける事で、少人数での活動の時間を作った *個人が落ち着けるスペースは確保できなかったが、ゆったり過ごせる場所に移動し、個人のペースに応じて過ごせる場所を作った 【うさぎ】*指先を使って遊ぶコーナーなど、1~2人で楽しめるコーナーを作った					
③粗大運動遊びのための空間設備・備品（滑り台・三輪車など）	適切な活動を選び身体を動かして充実感や満足感を得る	4	3	4	4
【うさぎ】*乳児用の中庭があり、少人数で身体を動かせるスペースがある *室内にも身体を動かせるコーナーがある					
II 【養護個人的な日常のケア（生活の環境作り）】					
①食育	食べる事を楽しむ	4	3	4	4
【りす】*食材に触れる機会（遊びに取り入れる 食べる 収穫）					
②排泄	自分で用を足せる	3	3	4	3
【りす】*トイレトレーニングの時期の為、子どもの意思を尊重しながら排泄を促した。排便時、大きな声で個人名を出して排便をしている事を伝えないように配慮した（プライバシー考慮） 【うさぎ】*おむつ交換や着脱（トイレ時・水遊び時のシャワーの時など）外から見えにくい、完全に見えないわけではないので、プライバシー考慮には少し欠けるのではと考える					
③午睡	身体を休めて休息の時間を過ごす	4	2	4	3
【りす】*個人の生活リズム、ペースに合わせ、眠たい時には眠れる環境を作った 【うさぎ】*個別で休息できる場所はないが、個々の体調に合わせて、眠ったり、体を休める場所はある					
④保健衛生	自分の身体を大切にすることを持つ	3	3	4	3
【りす】*鼻水が出ている時は、その都度、子どもたちに声を掛け拭くことを伝えてきた事で、子どもたち自身も習慣になり、自分たちで鼻水を拭こうとする姿も見られ始めた 【うさぎ】*わかりやすいように、写真やイラストを貼りだしている					
⑤安全	安全に気を付けて行動する	4	3	4	4
【りす】危険な行動、遊具の使い方などは、遊ぶ前に伝えるようにした					
III 【言語と文字、思考力】					
①聞くこと、話すこと	未知の言葉と出会い話す楽しさを知る	4	4	4	4
【りす】*言葉が出てくる年齢という事もあり、ひとりひとりに応じた方法でやりとりをするようにした					
②伝え合い（コミュニケーション）	好奇心を引き出し、言葉のやり取りを楽しむ	3	3	3	3
【ひよこ】*保育者の口の動きを真似し、発語に繋がるよう透明マスクを使用した為、感染症が流行することが多かった為、十分に活用できなかった 【りす】*言葉が出にくい子どもも意思表示できるよう仕草をつけ、伝えるようにしたり、また、子ども同士のやりとりが見られた時は、見守るようにした 【うさぎ】言葉だけでなく、ジェスチャーなど簡単な身振り手振りも使いながら気持ちを伝えられるよう関わっている					
③絵本（印刷文字に親しむ環境）	文字に出会い、絵本の楽しさ、探す・知る喜びを味わう	4	3	4	4
【ひよこ】*手話を取り入れている 【りす】*読み聞かせの時に、落ち着いて見る事が難しい子どもに対しては保育教諭の膝の上に座って見るなどの配慮をしたり、個別に好きな絵本を見れる環境作りをするなど、様々な方法を考えた（その子どもに適した関りは試行錯誤中）					

IV 【活動（環境があるかどうか）】

①運動（粗大運動・身体を使う）	身体を動かすさまざまな活動を十分に楽しむ				
	【りす】*鉄棒やジャンプ台を用意し、少し挑戦する気持ちも芽生えながら、遊びが“楽しい”と感じられるような環境設定を心掛けた	4	3	4	4
②運動（微細運動・手や指を使う）	手や指を使い集中して遊ぶ				
	【りす】*粘土や絵の具など、様々な感触に触れ、自由に遊べる時間を週に1回は設けるようにした 【うさぎ】*指先を使った手作り玩具が多様である	4	3	4	4
③造形	作ったり描いたりしてさまざまな表現を楽しむ				
	【りす】*自由に行う空間と時間の確保が難しい部分もあったが、子どもの声を聞き、お絵かきや絵の具を使って遊ぶ時間を作るようにした 【うさぎ】*造形の用具に触れるコーナーは設けていないが、製作の時間を十分に確保し、発達や興味に合わせた用具・材料を用意している	4	3	4	4
④音楽リズム	感じたこと考えたことを音や動きで楽しむ				
	【りす】*幼児クラスの和太鼓に興味を持っていたので、ホールへ聞きに行く事が出来た *手作り楽器など、自由に使えるものを用意していきたい	4	4	4	4
⑤ごっこ遊び	イメージを形にして楽しみ、友達と共有する				
	【ひよこ】*普段は仕切りなどでコーナーを作っていないが、ごっこの種類によりコーナーを作っている 【りす】*行事（さんま焼き やきいも大会など）を取り入れた物を手作りし、ごっこ遊びに繋げていった。他に、子ども達の興味のある物を作るようにした 【うさぎ】*室内にテントを置き、中でごっこ遊びが出来た空間を作った	4	4	4	4
⑥積木	構成を楽しみ、思い表現し、友達と共有する				
	【ひよこ】*口に入る大きさの物など、危険に繋がる事もある為、普段は片づけている。遊ぶ時は、保育教諭が傍で見守るようにしている 【りす】*レゴブロックなどは常備しているが、積木はいつも使える状態にはなっていない 【うさぎ】*子どもが自由に出し入れ出来るようにはなっていない。少量ずつでも、コーナーに取り入れる必要があると思う	4	4	4	4
⑦砂・水	砂や水に触れ、感触遊びを楽しむ				
	【りす】*壊したい！作りたい！など、月齢によって差がある為、それぞれの遊び方を楽しめるようにしてきたが、トラブルが起きることも多々あった為、場所の保証は確実にできていたわけではない 【うさぎ】*夏には感触遊びを楽しめるよう工夫している（園全体で）	4	4	4	4
⑧自然・科学	自然に触れ、好奇心や探求心をもつ				
	【ひよこ】*自然には、多く触れる機会を持った	3	3	3	3
⑨算数・数	遊びや生活の中で数、量、形に親しみ数字の意味に気付く				
	【りす】*乳児クラスの為、並べる・カゴに入れる・重い物を持って「重いね」と共感・玩具の数を一緒に数えるなど、発達に応じた方法で楽しみながら行った 【うさぎ】*生活の中で、日付（カレンダー類）や時計があり、数を遊びの中で数える事はある	3	3	2	3
⑩ICTの活用	テクノロジーで遊びや生活の幅を広げる				
	【ひよこ】*ICTの知識がない為、活用法の具体例があると思った 【りす】*多くはないが取り入れてた（歌絵本・手遊び）しかし、どこまで利用するか？の線引きが難しい	3	3	3	3
⑪多様性の受容	人と違うところや同じところがあることに気づく				
	【りす】*乳児クラスではどのように取り入れるかが難しい（クラスの中に国籍の違う子どもがいない為、多様な文化に触れることを保育の中で行えていない）*給食に様々な国のメニューが提供されている 【うさぎ】*異国の文化に触れる機会がない	3	2	2	2

V 【相互関係】

①個別な指導と学び（子ども理解と子ども理解の上立った保育者の関わり）	一人ひとりの特性に応じた指導に支えられて学びに向かう	4	4	4	4
②保育者と子どものやりとり（保育者と子どもの関係）	子どもが尊重され、認められ、支えられる	4	3	4	4
【リス】*担当児は担当の保育教諭が中心となり、その子に合った援助が出来るようにした。また、強引な関りがなく、子どもから活動できるような関りを意識した					
③子どもと子どものやり取り	他の幼児の考えや感じ方に触れる	4	3	4	4
【ひよこ】*保育教諭が思いを汲み取ったり、代弁しながら伝えている 【リス】*子ども同士のトラブルで、手を出す姿が見られたら、すぐに間に入るようにしているが、それ以外は、なるべく見守るようにし、必要に応じて代弁や仲立ちをするようにした。その中で、具体的にどのような言葉（カシテ チョーダイなど）で友だちに伝えたらよいかも知らせるようにした					
④望ましい態度・習慣の育成	自分でしなくてはならないことを自覚して行う	4	3	4	4
【リス】*室内で走る・椅子に立つなどの危険な行為が見られた時には、その都度知らせてきたが、視覚からの情報を掲示していなかった為、口頭（約束）だけではわかりづらかったかもしれないと感じた					

VI 保育の構造（日課）

①1人1人が自由に遊びを選択して遊ぶ活動	活動を楽しむ中で、自分で考えたり、助けを得たりする	3	3	4	3
②クラス集団で遊ぶ活動	他の幼児や保育者と親しみ合い、支え合う	4	3	4	4
③障害のある子への配慮	ともに育つ意識を持って支え合う	3	3	3	3
【ひよこ】*研修報告会で学び合っている 【リス】*小学校との連携が難しく感じる					
④家庭に配慮を要する子どもへの関わり	適切な対応や援助ができるように関わる	4	2	3	3
【リス】*虐待についての把握が難しい					

総合所見

【ひよこ】*ひとりでじっくり遊べる空間を作ったり、乳児専用のあそび場を作ることが物理的に難しい *子どもの様子に合わせて手作り玩具を作るなどをしていたが（種類&量を考慮）マンネリになりつつあった *身体を使った遊びを積極的に取り入れた

【リス】*じっくり遊べるような空間確保の為、もう少し仕切りたいが、確保しきれていないのが現状である *使用した玩具は午睡中に消毒をするなどし、常に清潔を保つようにした *身体を動かして遊べる環境や時間を作るようにした *コロナ渦により、子ども達とは別に食事をしている為、味はどうか？など、話しつつ伝えられないが、楽しい時間となるよう意識した

【うさぎ】*異国の文化に触れる機会が少ない為、年齢に応じた絵本などを取り入れ、わかりやすく伝える機会を持つ *積木をコーナー遊びに取り入れたい *場所が確保できるのであれば、コーナーを分け、ごっこ遊びがより広がるよう工夫する必要がある *子どもの育ちをビデオに撮り、共有する機会があってもよいかと思った *玩具の入れ替えを子どもの様子を見ながらする必要性を感じた（入れ替えはしているが）